

2017年度入試 AO入試 エントリー要項

桐 生 大 学
K I R Y U U N I V E R S I T Y

医療保健学部 ● 看護学科 ● 栄養学科

桐生大学短期大学部
K I R Y U U N I V E R S I T Y J U N I O R C O L L E G E

● 生活科学科[栄養士養成課程] ● アート・デザイン学科

イラストレーション・絵画/マンガ・コミックイラスト
グラフィックデザイン/ファッション・造形/インテリア・空間デザイン

AO入試とは

桐生大学・桐生大学短期大学部のAO入試は、受験を考えている皆さんと本学がお互いに理解を深めることで、学力以外の部分においても多面的な評価を実施させていただき試験方法です。

アドミッションポリシー (桐生大学 医療保健学部)

求める学生像

医療保健学部では、社会に出て役立つ人間の育成という建学精神のもと、医療保健分野で幅広い知識と確かな技術をもつ、対応力に優れた専門職を育成することをめざしています。そのため、自ら学び、考え、判断し、責任ある行動をとれる人材を求めています。

看護学科

● 求める学生像

看護学科では、医療保健の高度化・専門化・複雑化・多様化に伴い、社会が求める看護に生涯にわたって対応し、活躍できる人材の基盤を養います。そのためには、自らの職業に対する心構えを持ち、様々な状況にある人々の生活に関心を払い、また、自らの日常生活に対しても、自立的に整えられる人を求めています。

● 入学者選抜の基本方針

看護学科では、看護学教育の核である人間理解に向けてあらゆる方向から学びます。人間の形態機能、疾病の成り立ち、疾病の回復促進、保健学など専門基礎科目を基にして看護ケアや医療サービスの方法を構築していくことを特長としています。

看護は、人体の構造やその働き、自然の生態や社会生活についての基本的な知識、看護ケアを提供するために豊かな人間性や保健医療に対する強い関心が求められます。その基礎学力は、大学で学ぶための基本的な国語力(読解力や表現力)に加え生物や化学の分野です。また、看護ケアを提供するための方法論には数学、物理などの分野が重要になります。さらに、国際色豊かな地域で活躍するためには英語力も必要となります。特別な科目ではなく高等学校での科目が基礎になり、そこでしっかり学んでいるかを評価します。

栄養学科

● 求める学生像

栄養学科では、広い視野と高度な専門的知識・技術を持った質の高い管理栄養士の養成を基本的視点とし、保健医療サービスの担い手として地域や国際社会で活躍できる人材の育成をめざしています。「食と健康」に探求心を持ち、様々な問題に対して柔軟に対応できる豊かな感性と人間愛に満ちた、人々の健康増進のために役立ちたいと希望する人を求めています。

● 入学者選抜の基本方針

栄養学科では、「食と健康」について高度な専門的知識・技術を修得するとともに、科学的な根拠に基づいた栄養情報を対象者にわかりやすく表現・伝達するコミュニケーション技術を身につけることで、人間理解に基づいた「人間栄養学」の実践力を高めていきます。

保健医療の専門家としての管理栄養士の実践力を高めるためには、「栄養の科学」・「食品の科学」・「人体の科学」を総合的・体系的に学修する必要があり、その基礎となる化学や生物、数学などをしっかりと学んでおくことは重要です。また、広い視野を持ち、他者と豊かなコミュニケーションを構築するための国語力や英語力も求められます。

医療保健学部のAO入試では下記のように評価します。

面接等では人の話を聴いて理解する能力、具体的に質問できる能力や、高校で取り組んできた科目・課外活動、専門職を目指す動機や目標、課題等について、自分の言葉で述べる力を評価します。また、課題では資料の読解力や文章での表現力・要約する能力、および語彙や構成などを評価します。

アドミッションポリシー（桐生大学短期大学部）

求める学生像

「社会に出て役立つ人間の育成」の建学の精神のもと、専門知識・技術を身につけ、スペシャリストとして社会で活躍できる人、リーダーシップをとれる人の育成を目指しています。自主性・積極性のある人、自らの可能性を信じて行動できる人を求めています。

生活科学科

● 求める学生像

私たちの生活を身近な問題から、グローバルなテーマに至るまで幅広く研究し、実践を重視して「健康」「栄養」の分野で活躍できる人材を育成します。その観点から生活を取り巻く諸問題に幅広い関心を持ち、主体的に研究できる意欲のある人材を求めています。

● 入学者選抜の基本方針

生活科学科では、栄養や健康について食の視点から科学的に解明でき、さらには地域社会でリーダーシップを発揮できるような基礎的教養の修得を重要視し、実践力のある魅力的な職業人としての栄養士の養成を目指します。そのため食品や栄養、人体に関する講義や実習、そして様々な活動を通して実践力を身につけていくのが特長です。

それらの学習には基礎的な学力やコミュニケーション能力が必要であり、そのためには、「読む・書く・話す」の基本となる国語力等が不可欠となります。また、栄養学などの科目では生物をはじめとした理科の知識を基礎としていますので、これらのことを学ぼうとする意欲が、生活科学科での学修をより充実したものにします。

生活科学科AO入試では下記のように評価します。

書類では高校での学習の成果を、課題や面接では専門分野に積極的に取り組もうという意欲、まわりとのコミュニケーションを深めながら協調して学習に取り組む姿勢や社会的活動を評価します。

アート・デザイン 学科

● 求める学生像

アート・デザイン学科では、幅広い知識と視野の獲得、自らの関心に基づいて創作活動へ取り組むことができる力の育成、物事に対する洞察力を基礎とした創意あふれる表現力の探究を重視し、社会に貢献できる人材の育成を行っています。そのため、知識・技術の習得について努力を継続し、創作活動に対する目標を明確に持ち、興味のある分野を深く探究できる人を求めています。

● 入学者選抜の基本方針

入学試験では、基礎的能力と本学への進学意欲・アート・デザイン分野への適性が主な評価の観点となります。基礎的能力とは高等学校での学習成果全般が対象となっており、短期大学での学習に共通して必要となる基礎的な力を示します。具体的には、各必修教科への習熟状況や出席率、課外活動への取り組み状況等が挙げられます。進学意欲とは、アート・デザイン分野や本学の教育環境に対する理解と関心を示し、適性とは、アート・デザイン分野の学びに対応する能力（描写力、発想力等）を示します。進学意欲の向上と適性の獲得に有用な事として、高等学校における芸術教科、あるいは芸術系課外活動への積極的な取り組みを、一例として挙げるすることができます。

アート・デザイン学科のAO入試では下記のように評価します。

書類では高校での学習の成果、課題ではテーマの内容を理解し、それを的確に表現できる力、面接では希望する分野の学習に対して積極的に取り組もうとする姿勢と、まわりの人達との協調性やコミュニケーション能力について評価します。

出願資格・試験日程等

◎ エントリー資格 (全学科共通)

- 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者。または見込みの者。
- 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等程度の学力があると認められる者。または見込みの者。

◎ 出願資格 (詳細は必ず2017年度学生募集要項で確認してください)

上記エントリー資格に加えて、次の条件を満たす者。

- **桐生大学 医療保健学部**
出願前に事前審査を終了し、その結果本学より出願許可の案内があった者。
- **桐生大学短期大学部**
(Ⅰ期) 出願前に事前審査を終了し、その結果本学より出願許可の案内があった者。
(Ⅱ期～Ⅳ期) 本学のオープンキャンパス等で求める学生像の説明を受けている者。

◎ 募集定員/試験日程

桐生大学 医療保健学部

	看護学科	栄養学科
前期	7名程度	5名程度
後期	若干名	若干名

桐生大学短期大学部

	生活科学科	アートデザイン学科
Ⅰ期	5名程度	8名程度
Ⅱ期	若干名	若干名
Ⅲ期	若干名	若干名
Ⅳ期	若干名	若干名

桐生大学	桐生大学短期大学部	エントリー期間	事前審査等	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
前期	Ⅰ期	8月1日(月)～8月18日(木)	8月25日(木)	9月1日(木)～9月12日(月)	9月16日(金)	9月29日(木)	9月30日(金)～10月14日(金)
	Ⅱ期			11月21日(月)～12月2日(金)	12月8日(木)	12月15日(木)	12月16日(金)～12月27日(火)
後期	Ⅲ期	*11月21日(月)～12月16日(金)	*12月22日(木)	1月12日(木)～1月27日(金)	2月2日(木)	2月10日(金)	2月13日(月)～2月24日(金)
	Ⅳ期			2月27日(月)～3月13日(月)	3月16日(木)	3月23日(木)	3月24日(金)～3月30日(木)

※桐生大学医療保健学部 後期のみ。桐生大学短期大学部Ⅱ期～Ⅳ期は、エントリー・事前審査はありません。

◎ エントリー方法

● 提出書類

エントリーシート (所定の書式)、課題

● 提出方法

市販の封筒を用意し、定められた期間内 (必着) に、以下の住所に送付してください。

〒379-2392 群馬県みどり市笠懸町阿左美606-7

桐生大学・桐生大学短期大学部 入試広報係宛

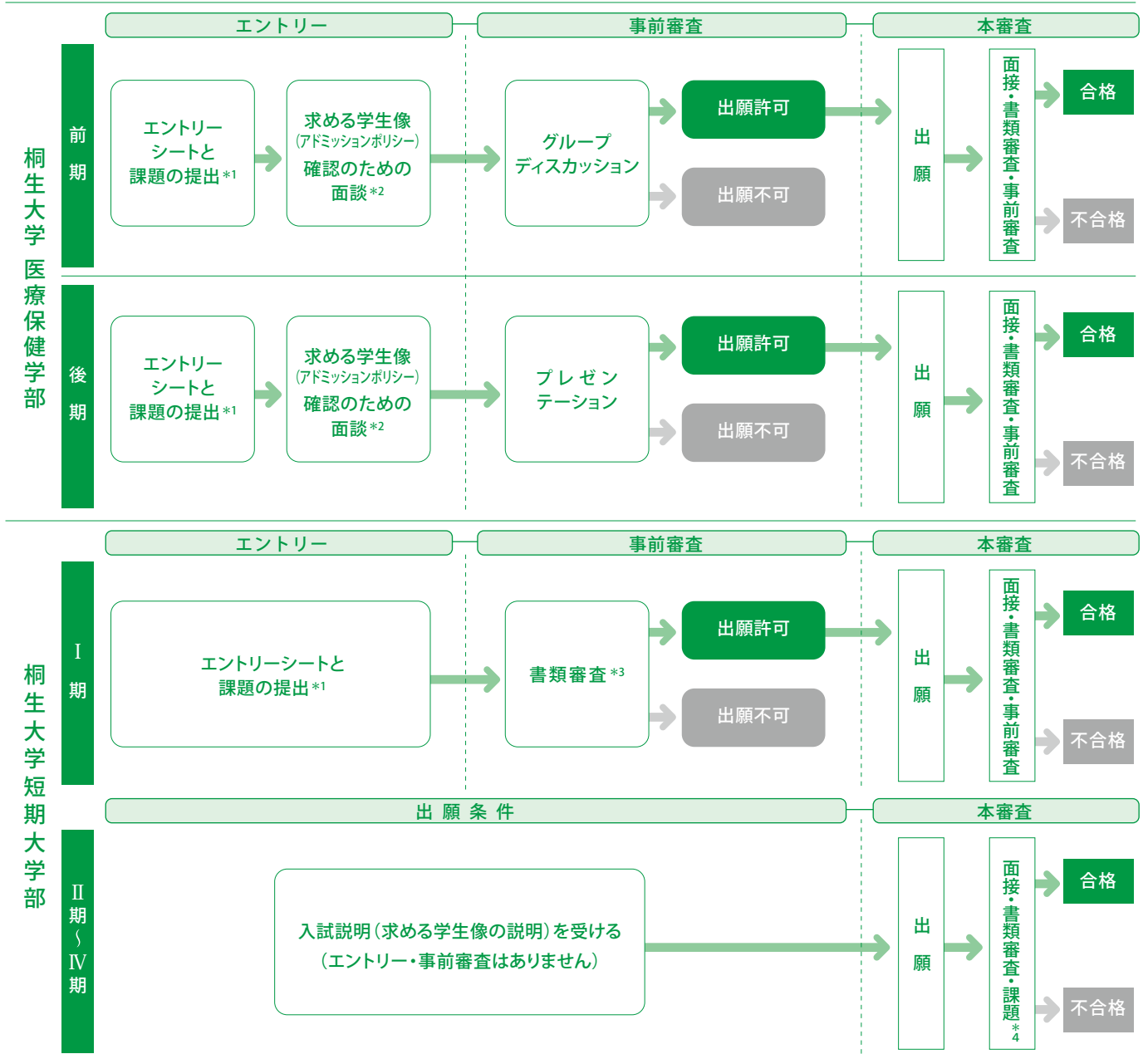
TEL: 0277-48-9107【入試広報係直通】

※ 出願書類で得られた個人情報、入試に関する事、個人が特定できない形での調査、研究及び入学者に対する入学後の事務処理に利用し、それ以外の目的での利用や第三者への情報提供はしません。

実施方法の概要

桐生大学医療保健学部および桐生大学短期大学部Ⅰ期では事前審査を実施し、また桐生大学短期大学部Ⅱ期～Ⅳ期では、本学のオープンキャンパス等で入試説明（求める学生像の説明）を受けることで、学部・学科教育への意欲と適性、本学への関心の有無を確認します。本審査では面接や書類審査、事前審査や課題の内容などをもとに最終的な入学適性の有無や意思確認を行います。エントリー時にはエントリー料や入学検定料は必要ありません。入学検定料は本審査への出願時に願書類とともに納入してください。

〈AO入試の流れ〉



*1:エントリー料はかかりません。 *2:本学の求める学生像を説明し、受験生がそのままAO入試を継続していくかを確認するための面談のため、評価は行いません。 *3:来学の必要はありません。
*4:出願の時にエントリーシート・課題を提出してください。

事前審査内容

		桐生大学 医療保健学部		桐生大学短期大学部			
		前期	後期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
書類審査	エントリーシート	○	○	○	※	※	※
	課題	○	○	○	※	※	※
グループディスカッション		○					
プレゼンテーション			○				

※事前審査はありません。出願時に提出してください。

■ 事前審査 (評価要素)

◎ エントリーシート

高校で取り組んできた科目・課外活動、志望動機等が具体的に記載されているかどうか、またそれらとアドミッションポリシーの関連性が明確に述べられているかが評価の重要な要素となります。

*例えば、課外活動では、具体例のような資格や検定試験への取り組み、それによって得た成果等は明確な評価の要素となります。

具体例：資格や検定試験

実用英語検定、TOEFL、TOEIC、日本漢字能力検定、情報処理技能検定試験、実用数学技能検定等

◎ 課題

(1) 桐生大学

医療保健学部

与えられたテーマを理解し、それに基づいて自分で調べ、採点者に伝えるようにまとめられているかが重要です。したがって、文章作成の技術の他、情報収集能力や理解力等が評価の重要な要素となります。

(2) 桐生大学短期大学部

a. 生活科学科

与えられたテーマを理解し、それに基づいて自分で調べ、採点者に伝えるようにまとめられているかが重要です。したがって、文章作成の技術の他、情報収集能力や理解力等が評価の重要な要素となります。

b. アート・デザイン学科

与えられたテーマを的確に捉えて表現されているかどうか大切です。したがって、構図の決め方の他、しっかり作り込まれた作品であることが評価の重要な要素となります。

◎ グループディスカッション (桐生大学医療保健学部前期のみ)

与えられたテーマを理解し、他の人の意見を踏まえ、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることが大切です。したがって、ワークシートでは論点や自分の意見の記述が、ディスカッションでは論理的思考力、積極性、コミュニケーション力などが評価の重要な要素となります。

◎ プレゼンテーション (桐生大学医療保健学部後期のみ)

与えられたテーマを理解し、要点を分かり易く資料にまとめ、発表することが大切です。したがって、プレゼンテーションにおける内容の分かり易さ、表現力、対応力などが評価の重要な要素となります。

論文課題及び注意事項等 (桐生大学 医療保健学部/ 桐生大学短期大学部 生活科学科)

桐生大学 医療保健学部および桐生大学短期大学部 生活科学科の論文課題は以下の注意をよく読んで作成してください。

桐生大学 医療保健学部 (看護学科・栄養学科共通) 課題

前期：若者を取り巻く環境が大きく変化している中、自分の大人像を描くことには大きな意味があります。

政府等が発行した関連の資料等で若者の意識や実態を調べ、あなたが考える「大人になること」について、最も重要と思われる観点を三つのあげ、それを選んだ理由を述べなさい。

後期：今日の日本は、少子化の急速な進行とこれに伴う人口減少という問題に直面しているといわれています。そこで、あなた自身が在住する都道府県の「少子化・人口減少」の状況と、これに対する当該都道府県内自治体等の対策について調べ、あなたが考える「少子化・人口減少対策案」を三つあげ、それぞれについて取り上げた理由とその内容について述べなさい。

桐生大学短期大学部 生活科学科課題

I期：近年、偏った栄養摂取で子どもたちの食生活の乱れや肥満・痩身傾向が見られています。そこで、どのようにすれば子どもたちは、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけられるか。あなたの考えを述べなさい。

II～IV期 (共通)：現在、日本では、国民の約二人に一人が、気管支ぜん息・アトピー性皮膚炎・花粉症・食物アレルギーなどのアレルギー疾患に罹患しているといわれており、その患者数は増加傾向となっています。そこで、このアレルギー疾患の一つである「食物アレルギー」の種類、症状および予防対策などについて述べなさい。

●共通の注意

- ※ 400字詰原稿用紙（横書き）を使用し、800字程度で、また必ず直筆で作成してください。（パソコンにより作成し、プリントアウトしたものは受け付けません）
- ※ 所属学校名、氏名は1枚目の欄外に記載すること。
- ※ 参考にした書籍名やインターネットのページ名を必ず記載すること。（別紙でも構いません）
例) 書籍の場合／桐生太郎：みどり大学の歴史. 桐生出版, 2014.
ホームページの場合／笠懸はなこ：“アドミッションポリシーとは”. みどり大学, 2013-8-1. <http://www.midorixx-u.ac.jp/xxx/zzz.html>, (参照2015-7-1)
新聞記事の場合／桐緑新聞：「みどり大学の社会貢献」. 2015年7月1日朝刊, p.20

◎ 医療保健学部前期：提出課題に関連した内容について、事前審査でグループディスカッションを行います。

- 当日の流れ：小講義（テーマの提示：25分程度）➡論点整理（ワークシートの整理：15分）➡ディスカッション（40分）

◎ 医療保健学部後期：提出課題でまとめたことについて、事前審査でプレゼンテーションを行います。

- プレゼンテーション時間：1人10分、その後質疑応答5分
- 当日利用できる資料：
 - Microsoft PowerPoint（コンピュータは大学側で用意します。データをUSBメモリやCD-R、DVD-Rで持参してください。）
 - ポスター（様式、大きさは自由。ホワイトボードに掲示するためのマグネット10個までは大学側で用意します。）
 - 配布資料（様式、大きさは自由。3部以上用意してください。）
 - 発表原稿の持ち込みは許可します。

作品課題及び注意事項等（桐生大学短期大学部 アート・デザイン学科）

アート・デザイン学科の作品課題は以下の注意をよく読み、「イラストレーション」「静物デッサン」の2課題からどちらか1課題を選択して制作してください。

桐生大学短期大学部 アート・デザイン学科課題

- I期：
 - ・ イラストレーション/テーマ：「思い出の場所」をイメージして自由に表現しなさい。
 - ・ 静物デッサン/モチーフ：「果物」を机の上に配置してデッサンしなさい。
※ 果物を机の上に自由に配置し描くこと。（種類、数は自由）
- II～IV期（共通）：
 - ・ イラストレーション/テーマ：「思い出の日」をイメージして自由に表現しなさい。
 - ・ 静物デッサン/モチーフ：「野菜」を机の上に配置してデッサンしなさい。
※ 野菜を机の上に自由に配置し描くこと。（種類、数は自由）

●共通の注意

- ※ 制作時間は3時間以上かけていることが望ましい。
- ※ 作品の裏面右下に、所属学校名、氏名を記入すること。

●イラストレーションの注意

- サイズ：A4（平面作品）縦・横自由。
- 技法：手描き、CG等自由。
- 作品の裏面に200文字程度の作品に関する説明文を記入すること。（文章は評価の対象としませんが、簡潔に書くこと）
- 手描きの場合：ケント紙又は画用紙に制作。画材は、アクリル、水彩、色鉛筆、コピック等自由。
- CGの場合：ソフトウェア等は自由。

●静物デッサンの注意

- ※ サイズ：A4の画用紙、又はケント紙。（鉛筆使用）